

SDGs未来都市 北九州市

ばい煙の空、死の海から奇跡の復活

北九州地域は、日本の四大工業地帯の一つとして、重化学工業を中心に発展し、日本の近代化・高度経済成長の牽引役を果たしてきました。しかし、産業の繁栄は、一方で激しい公害をもたらしました。1960年代、北九州地域の大気汚染は国内最悪を記録、洞海湾は工場廃水により「死の海」と化しました。

この公害に対し、対策を求めて最初に立ち上がったのは、子どもの健康を心配した女性たちでした。住民運動やマスメディアによる報道が公害に対する社会の問題意識を高め、企業や行政の公害対策強化を促したのです。

市民、企業、行政の一体となった取り組みにより、環境は急速に改善され、1980年代には、環境再生を果たした奇跡のまちとして国内外で紹介されるようになりました。



煙におおわれた空（1960年代）



よみがえった青い空（現在）



大腸菌でさえ棲めないと言われた汚れた洞海湾（1960年代）



よみがえった洞海湾（現在）

世界に広がる環境協力のネットワーク

北九州市の友好都市中川・大連市などとの環境協力を通じて、きめ細やかなケアや地域住民との協働による協力活動など、地域レベルでの国際協力の有効性、重要性が認識されました。

そこで、北九州市では、都市対都市の協力活動を更に推進するため、都市間ネットワークを提案・実現し、加盟都市間での環境協力事業を開始しました。

加盟各都市では、アジア地域における「環境先進都市」の実現を目指して、様々な取組が始まっています。

SDGs未来都市

「環境モデル都市」、「環境未来都市」に選定されるなど、持続可能な社会づくりを率先してきた本市は、2018(平成30)年4月に、OECDより「SDGs推進に向けた世界のモデル都市」にアジア地域で初めて選定されました。また、同年6月には、国より「SDGs未来都市」及び「SDGsモデル事業」に選定されました。

今後も、北九州市は「日本で一番住みよいまち」を目指し、産学官民が連携して、SDGsの取組を推進していきます。

あなたの環境学習をサポートします

環境学習サポーター

環境に関する学習や活動のサポートをする市民ボランティアです。エコ工作などを通して、環境について楽しく学べお手伝いをしています。



環境学習コンシェルジュ

市内の環境学習施設や学習プログラムなどの紹介、エコツアーの企画立案、研修やセミナーのご相談など、様々な環境学習のお手伝いをいたします。



出張環境ミュージアム

当館のスタッフが、あなたの学校・幼稚園・保育所まで出かけて、環境に関する実験やゲーム、保護者の方への講話などを行います。



▶環境ミュージアムへアクセス▶



〒805-0071 北九州市八幡東区東田二丁目 2-6
TEL: 093-663-6751 FAX: 093-663-6753
http://eco-museum.com

北九州市印刷物登録番号第 1812060B 号



北九州市 環境ミュージアム

KITAKYUSHU ENVIRONMENT MUSEUM



未来ホテル

※SDGs: Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)



2001(平成13)年に開催された北九州博覧祭のバビリオンとして誕生以来、環境学習の場、環境活動の拠点として市内外から多くの方が訪れている「環境ミュージアム」。

公害克服の歴史や世界の環境問題、身の回りのエコ活動や市民・企業の環境への取組など、「見て・触れて・楽しみながら学べる」施設です。「SDGs未来都市」である北九州市のこれまでの歴史を学び、これからのあり方を一人ひとりが考え、行動するきっかけとなるような場づくりを目指しています。

3つの機能

環境学習センター機能

学校教育や社会教育などの環境学習の場として活用できます。現在の環境問題解決のために『気づき、学び、判断し、行動していく環境リーダーの育成』をサポートします。

環境情報センター機能

NPO・企業・行政が主催する環境イベントなどをはじめ、国や他の自治体、世界の情報などを発信します。

環境活動センター機能

市民で活動行っている様々なNPOや市民グループの活動拠点として、集会やミーティングの場として利用できます。

- 開館時間
9時～17時
(展示部分) 入館は16時30分まで
9時～19時
(情報ライブラリー・リユースコーナーなど)
※但し、土・日曜日及び祝日は17時まで
- 閉館日
月曜日及び年末年始

アクセスマップ



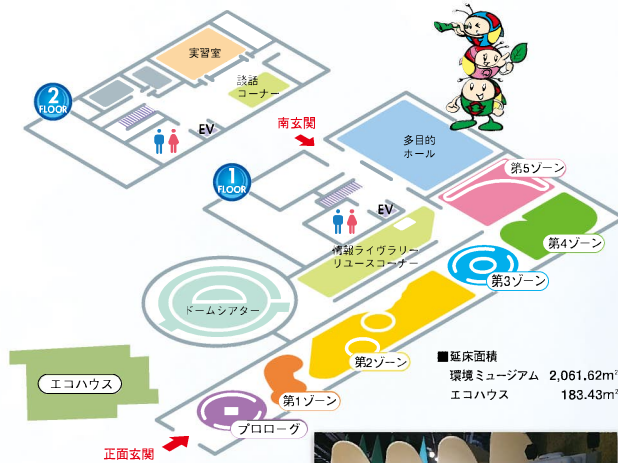
- JR利用
鹿児島本線「スペースワールド」下車、徒歩約5分
- バス利用
西鉄バス「東大通入口」下車、徒歩約5分
- 都市高速利用
北九州都市高速「大谷 I.C.」より車で約5分

北九州市の環境学習・交流総合拠点

プロローグ



福岡県の北部に位置し、九州の玄関口である北九州市は、北側は日本海(響灘)、東側は瀬戸内海(周防灘)に面しており、豊かな自然に恵まれた都市です。このような北九州市の豊かな自然を写真や映像で紹介しています。



第1ゾーン 北九州市の変遷

豊かな石炭排出量や、九州の交通の要塞という地の利を生かし、古くから栄えた北九州。1901(明治34)年、八幡の地に「官営八幡製鐵所」が誕生し、日本の産業近代化にも大きく貢献しました。このような歴史や実際に使用してきた石炭、鉄鉱石などの原料、工業製品を展示しています。また、北九州市の世界遺産について映像で紹介しています。



第2ゾーン 公害克服の歴史

不可能と思われた北九州市の公害克服の歴史を紹介するゾーン。ものづくりの街としての発展、それゆえに直面することになった公害問題。協働により豊かな自然環境を取り戻すまでの歩みを辿ります。



～市民から始まり企業・大学・行政それぞれが公害問題に取り組みました～

■市民による公害への立ち上がり



- 戸畑地区の「婦人会」では、洗濯物のしつこい汚れから大気汚染を懸念し、大学教授から調査方法を学んだ。
- この結果をもとに、市議会や企業を訪問などの活動を行った。
- 「青空が欲しい」の8mm映画を自主製作し啓発活動を展開した。

■企業の取組



- 汚染の主要原因であった企業は、省資源、省エネルギー型生産プロセスへの転換(クリーナープロジェクト導入)による汚染物質や廃棄物の大幅な削減を行った。
- 排ガス処理や排水処理などの汚染防止対策を実施した。

■行政の取組



- 公害の状況を常時監視するための「公害監視センター」を設置した。
- 汚染物質を取り除くための洞海湾のしゅんせつを行った。
- 公共下水道の整備、緩衝緑地の整備などを行った。
- 企業と「公害防止協定」を締結した。

第3ゾーン 地球環境とわたしたち

地球環境問題を身近な暮らしの中やグローバルな経済活動などの視点から伝えるゾーン。地球のしくみや地球環境の現状を触ったり動かしたりする展示を通じて楽しみながら学び、自分自身と地球環境問題の関係を体験や体感の中から発見します。



第4ゾーン 環境技術とエコライフ

3R(リデュース・リユース・リサイクル)や資源循環の考え方が学べるゾーン。北九州市のごみの分別やエコ商品を紹介しています。また、SDGs(持続可能な開発目標)についてわかりやすく解説しており、来館者が自身の取組を紹介することもできます。



第5ゾーン SDGs未来都市 北九州市

「北九州市が行っている環境に関する取組」や「市民・団体・企業・学校の環境活動」、「新エネルギー」などについて、写真パネルで詳しく紹介しています。



北九州エコハウス

断熱・気密、通風、自然素材などの「環境基本性能の確保」、「自然・再生可能エネルギー活用」、「エコライフスタイルと住まい方」を基本的な考えとし、化石燃料にできるだけ頼らない住まいを目指した環境配慮住宅です。縁側や土間といった古来のものから、太陽光発電やV2H(燃料電池自動車からの外部給電)、水素燃料電池など、最新の環境配慮設備を紹介しています。



北九州 地球の道



地球誕生から現代までの46億年の壮大なドラマを460mのフィールドに置き換えて、ガイドの解説を聞きながら自分の足で歩いて体験する「地球の道」。脚本家の倉本聰氏が塾長を務める「富良野自然塾」で考案された、想像力を刺激するユニークな体験型環境学習プログラムです。九州ではここだけで体験することができます。

■プログラム体験料金

大人/500円(税込)・高校生以下/250円(税込)
※北九州市内の小学校・中学校・高校の社会見学や遠足などの学校行事での体験は無料。

※現在工事中のため、地球の道体験プログラムは休止しています。

